

迷惑撮影防止 に関するお願い

～アスリートが安心して競技に取り組める環境をつくるために～

各競技会への依頼事項

▶会場整備・啓発活動の徹底

- ・会場内への注意喚起ポスターの掲示
- ・大型ビジョンおよび会場アナウンスでの呼びかけ
- ・大会プログラムへの注意喚起広告の掲載
- ・スタッフ／審判による会場巡回
(特に、女子跳躍種目、短距離種目)



▶競技運営面の工夫

- ・表彰式での所属ウェアやTシャツ着用の推進
- ・レース後の安全な導線の確保
(荷物運搬の無い場合、レース後にユニフォーム姿のまま歩いても安全な導線の確保)

▶地域管轄警察署との連携

- ・開催期間中の定期的な会場巡回
- ・警察署名の入った盗撮禁止看板の制作



参考資料

セイコーゴールデングランプリ2023 の取り組み例

■ 1階層 通路より下層での撮影制限

- ▶スマートフォン・タブレット端末はOK・一眼レフなどはNG
- ▶チケット販売時に明記
- ▶選手所属先は、取材申請をもって撮影許可(報道ビブス着用)

□ 啓発活動

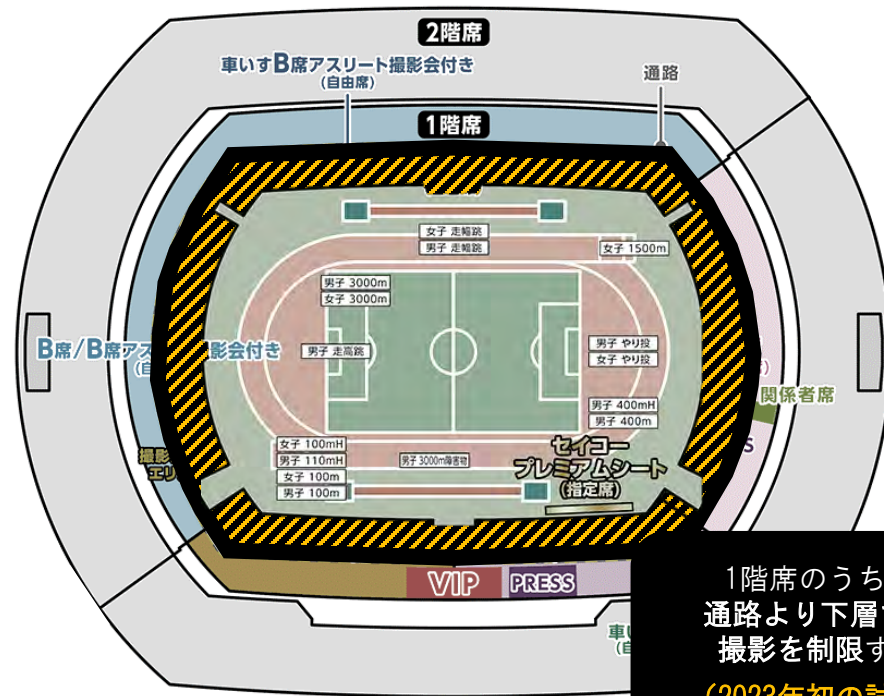
例:大型映像/看板・ポスター設置/場内アナウンスなど

□ 100m後方の撮影禁止エリアの設置 (スマートフォン・タブレット端末も含めてNG)

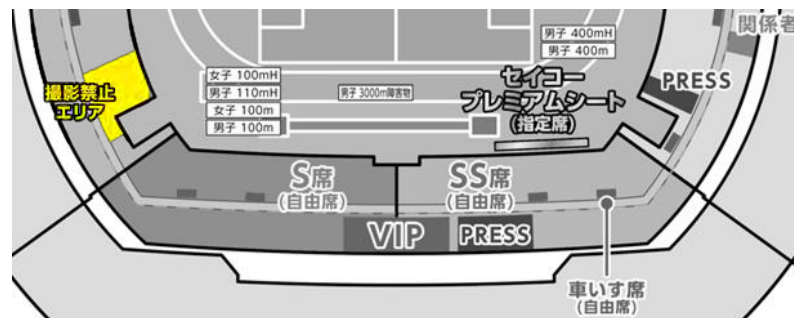
□ 通報フォームの設置

例:Google foamを用いた観客からの通報窓口

□ 表彰時のウェア着用



1階席のうち、
通路より下層での
撮影を制限する
(2023年初の試み)



【各種素材の共有】

https://drive.google.com/drive/folders/1Kw_okU5yTDmVO0gZ1kx7bkehIvRhmvoJ?usp=share_link

(大型映像素材、ポスタープログラム用素材、アナウンス原稿案など)

【インタビュー紹介】 ロンドン五輪日本代表市川華菜さん

～「迷惑撮影(盗撮)」からアスリートを守り、安心して陸上に取り組める環境作りへ～

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/17568/>

【ユニフォームの形式】 2022年全国競技運営責任者会議 4ページ目

https://cms.jaaf.or.jp/files/upload/202302/20_182040.pdf

リレー出場の際、チームで統一した形式(スパッツまたはブルマ)を不本意でありながら着用している場合がある。

→デザイン、配色が同一であれば、選手により形式(スパッツやブルマ)を選択することはルール上問題ない

<相談窓口>

<https://www.jaaf.or.jp/ethic/ihaho.html>

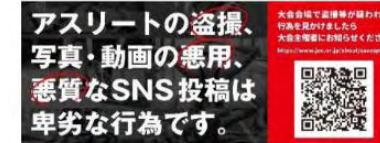
<日本陸連窓口>

jigyo@jaaf.or.jp



←女子4×100mR北海道チーム(2022栃木国体)

<大型ビジョンデータ>



安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。
SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

<ポスターデータ>



安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。
SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が行われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。
If you see unauthorized photography etc. at the competition venue, please notify the event organizer.

お問い合わせ先: 日本陸上競技連盟 広報課
お問い合わせ先: 日本陸上競技連盟 広報課

お問い合わせ先: 日本陸上競技連盟 広報課